

# 栗山高等学校 1年「栗山と福祉」

## ～ 歩行や車いすの移動体験から学ぶ介護の基礎 ～

令和7年 8月22日（金） 13:20～15:10

担当 栗山町立 北海道介護福祉学校 教務担当主幹 藤田 秀剛  
( 介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員 )

組 番 生徒氏名

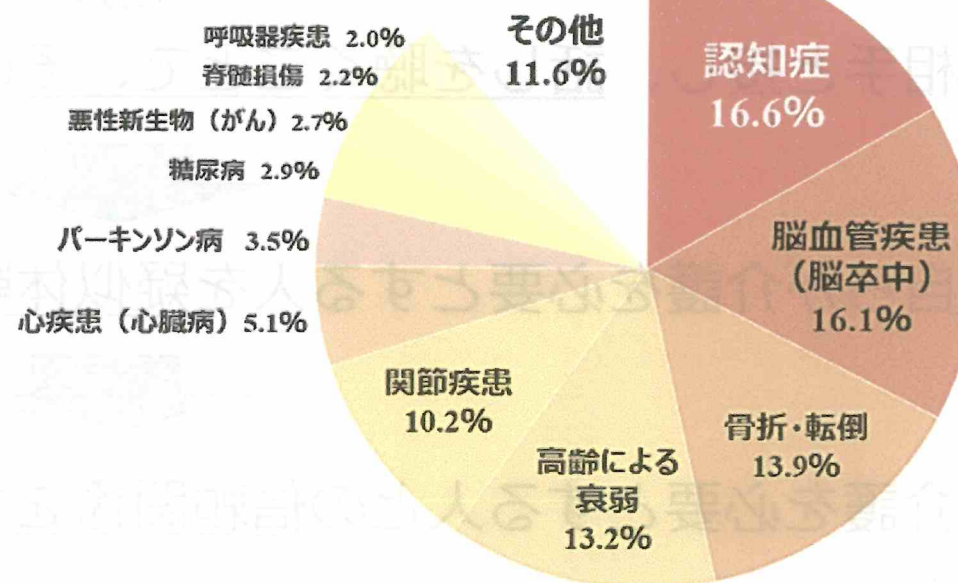
# 『介護』とは ～ イメージと内容

- 少しだけ考えてみましょう  
【イメージは？】

【介護の内容としては、どのようなことを行いますか？】

# 『介護』が必要となった原因は？

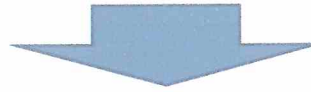
## 介護が必要となった主な原因の構成割合



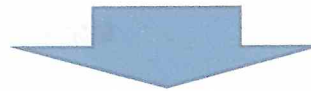
厚生労働省「国民生活基礎調査」2022年

# 体験を通して気づく大切さ

- 自分とは違う他者の気持ちを理解することは容易ではない。



- 相手と接し、話を聴くことで、その人の気持ちを汲みとる



- 自らが介護を必要とする人を疑似体験することで考える契機に



- 介護を必要とする人との信頼関係をつくるための心構えを養う

# 介護に必要な心構え ① (接遇)

- 相手に対して配慮すること（心身の状況に応じて）  
→ ご本人ができないこと、継続してできること  
必要としていること・・・
- 互いが心地よく過ごすための、**思いやりの気持ちと行動**
- **身だしなみや言葉遣い、態度も意識していく**

## 介護に必要な心構え ②（言葉掛け）

- ① 相手に何かを伝えるとき・・・
- ② できるところを協力してもらうとき・・・
- ③ 相手に確認をするとき・・・

例えば・・・

- これから～をしますが、～でよろしいでしょうか？  
( ) ( )
- ～を希望されているのですね。では、～を行いませんか？  
( ) ( )
- 今のご気分はよろしいですか？ では、～の準備をしませんか？  
( ) ( )

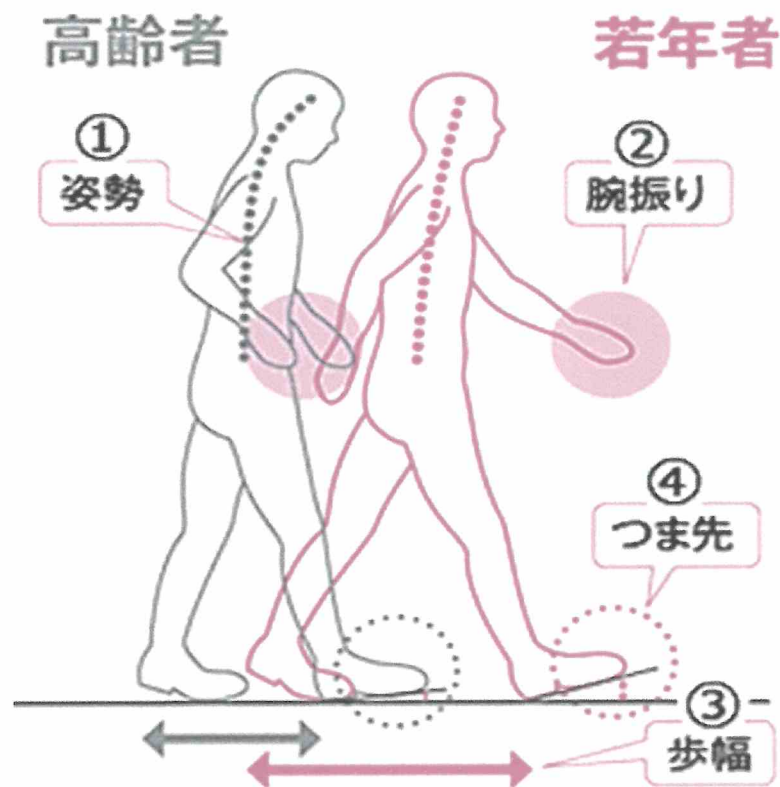
# コミュニケーション時、目線の位置と高さは？



①

②

# 高齢者の姿勢や歩行状態の変化は？



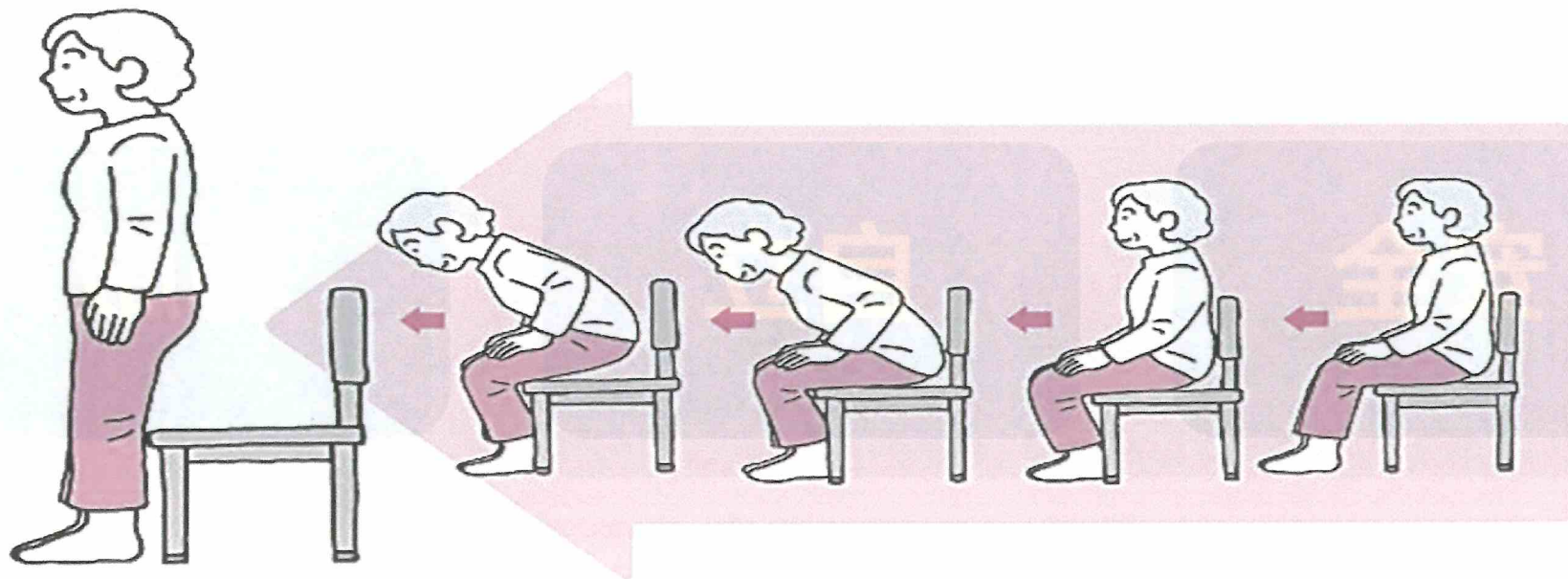
**介護を必要とする人が安心して生活するために**

**安全**

**自立**

**尊厳**

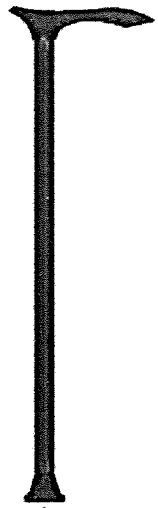
# 私たちの立ち上がりと介護をするとき



## 2つの動作の違いを考えましょう



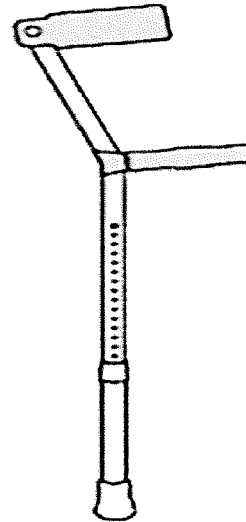
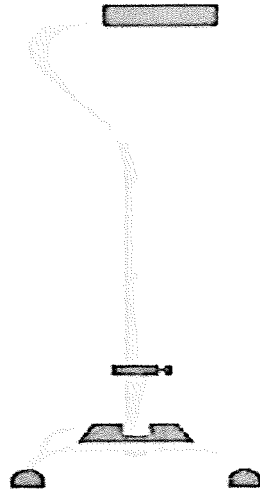
# これらの杖は何のためにありますか？



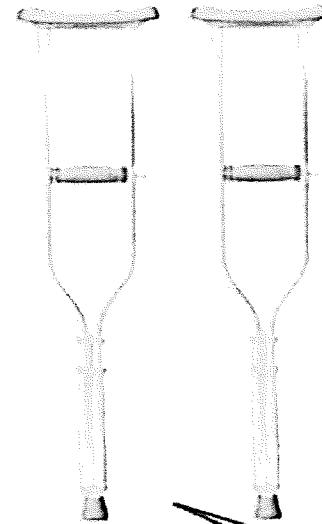
T字杖←



多点杖←

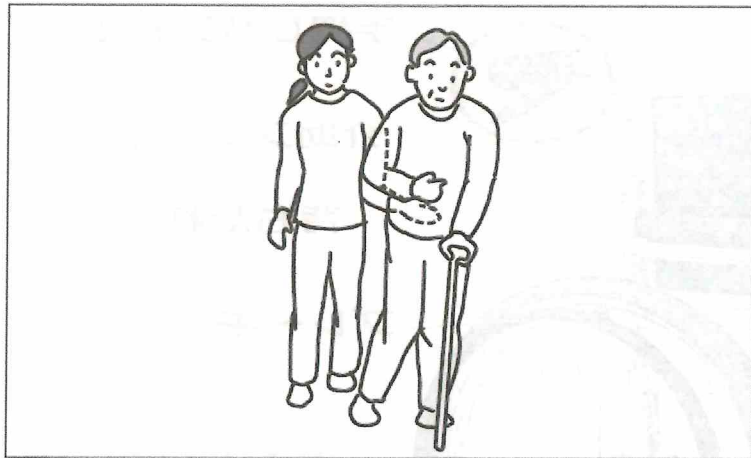


ロフトランド杖←

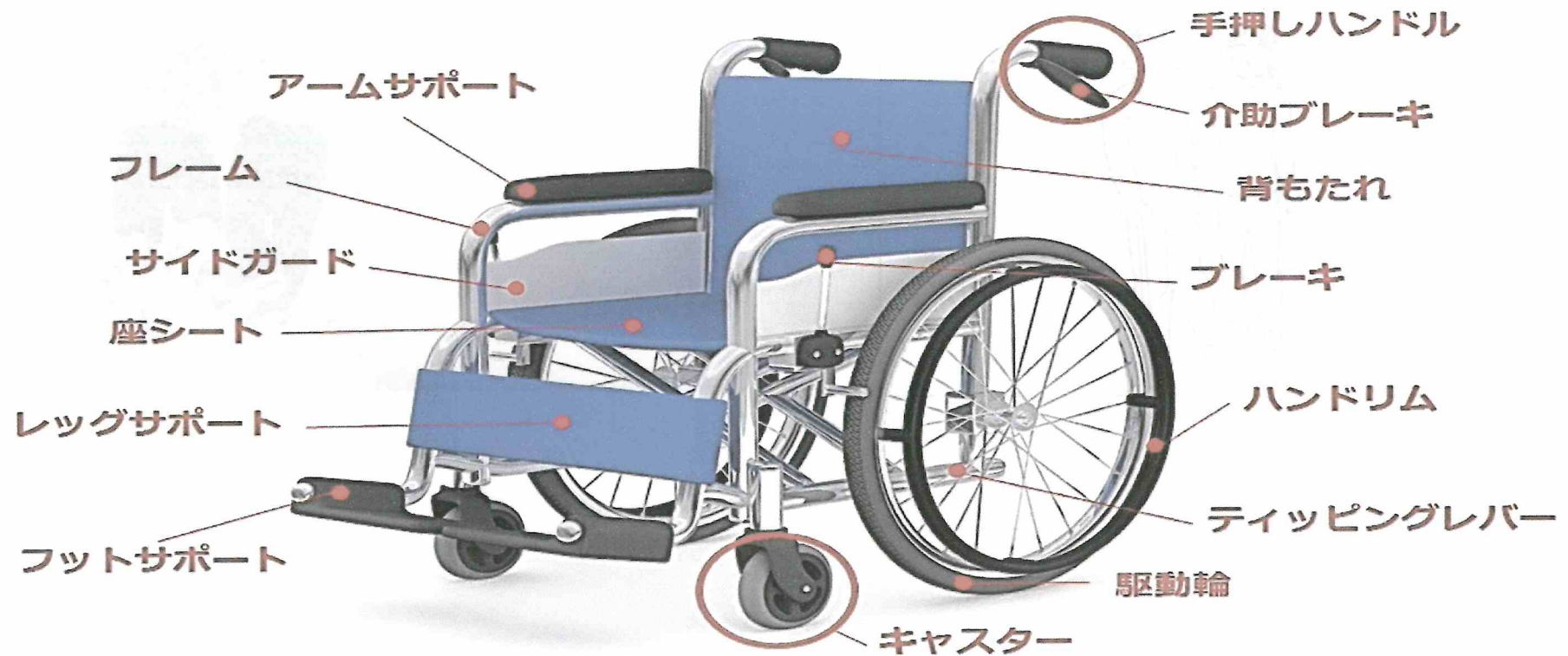


松葉杖←

# 介護者の位置、支え方は？

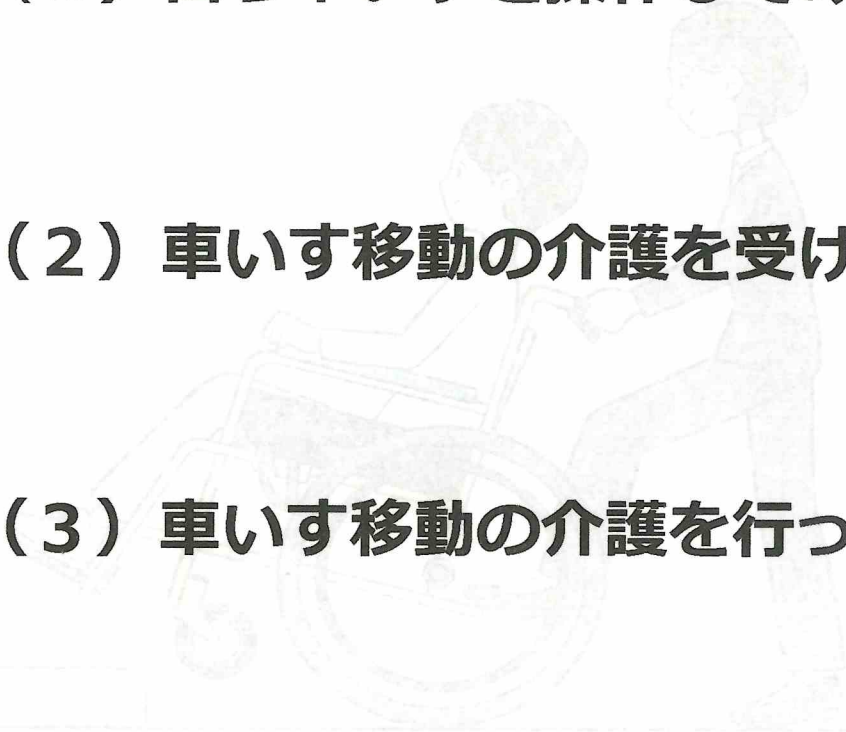


# 車いすはどのようなときに使いますか？

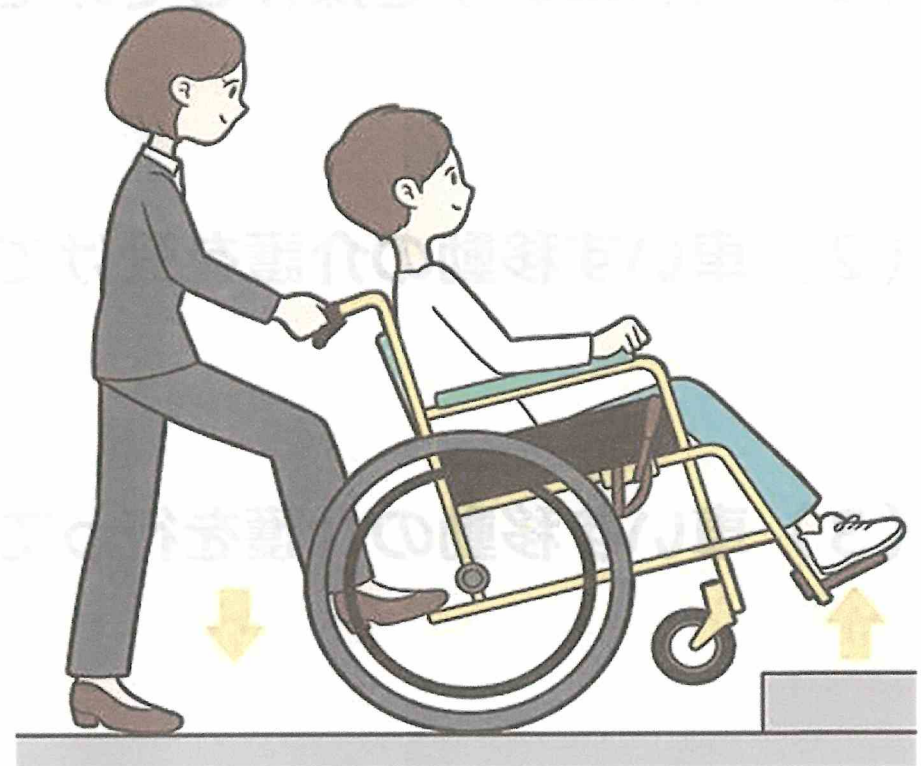


## 体験を通して気づいた「利点」、「疑問」点は？

- (1) 自ら車いすを操作してみて
- (2) 車いす移動の介護を受けてみて
- (3) 車いす移動の介護を行ってみて



# 車いすの自走・移動の介護体験



# 次回の授業に向けて

- 次回（8/26）は、車いすを使用した校外演習を実施し、栗山駅周辺の公共施設や公園、歩道等実際に移動してみましよう。
- 介護福祉学校の学生と一緒に、案内者（観察者）・介護者・利用者の役割を分担しながら体験してみます。
- 双方の安全を第一に考えつつ、本日の演習で各自が感じた、利点や改善点を取り入れていきましょう。
- 実際に体験してみて、バリアフリーの側面、車いすで移動する場合のアクセシビリティについての現状と改善点についても、考えてみましょう。

